

くろべせいぶ

黒部西部地区(二期)

(富山県黒部市)

- 計 画 期 間 平成 27 年度～平成 29 年度
- 面 積 1,617ha
- 交付対象事業費 569.6 百万円
- 市人口 40,361 人

ポイント

都市基盤と交通環境の一体的整備による市街地の活性化

地区概要

市街地の面的整備や歩行空間の整備、地域防災施設の整備等により、安全・安心で、賑わいと交流のあるまちづくりを推進する。

目 標

誰もが快適で住みやすい、安全・安心な居住環境の形成
 都市機能の更新・導入を促進し、賑わいと交流のあるまちの中心部の形成
 便利で安全な道路交通ネットワークの構築

指 標

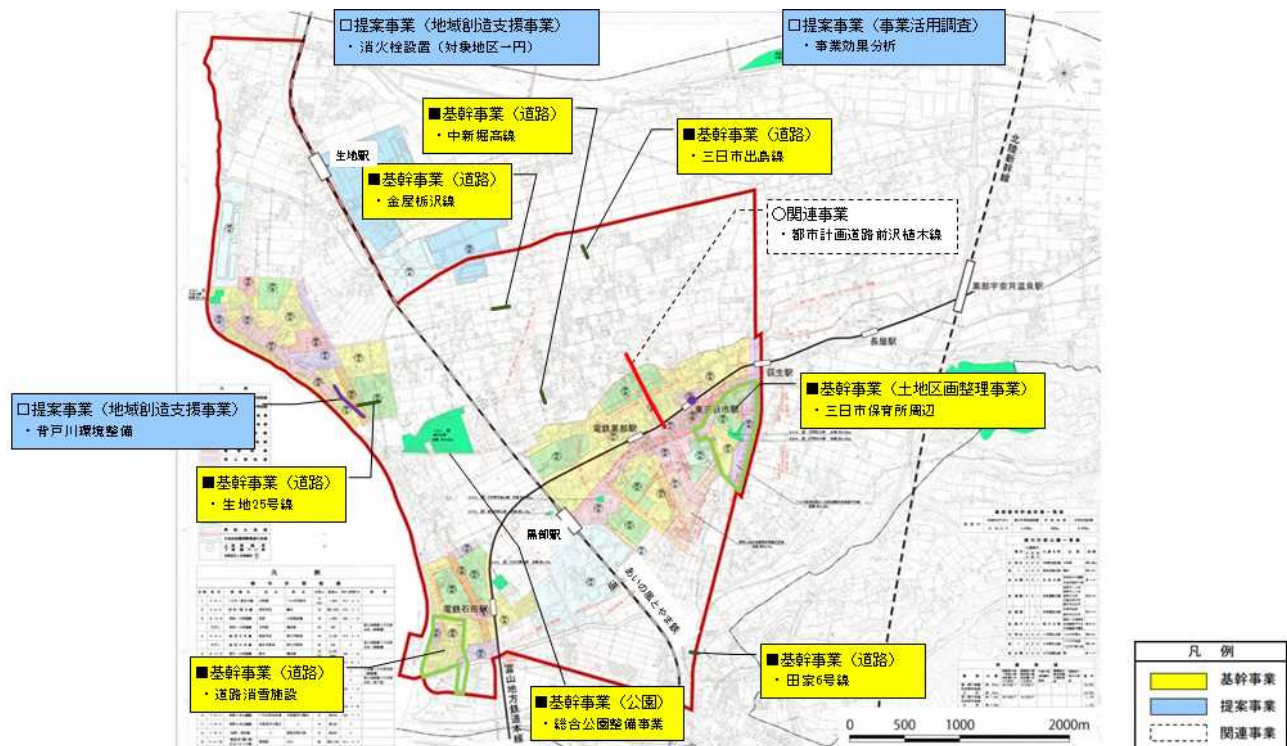
居住環境の形成による人口減の抑制、都市機能導入による観光・交流人口の増加、道路交通ネットワーク構築による交通事故の抑制を目指す。

地区内の居住人口	23,015 人 (H26)	→	23,024 人 (H29)
地区内の観光客入込み数	92.9 万人 (H26)	→	107.0 万人 (H29)
地区内の交通事故発生件数	57 件/年 (H26)	→	58 件/年 (H29)

事業内容

基幹事業 (555.1 百万円) → 道路 (5 路線)、道路消雪施設、総合公園整備、土地区画整理事業 (31.3ha)

提案事業 (14.5 百万円) → 背戸川環境整備、消火栓設置事業、事業効果分析

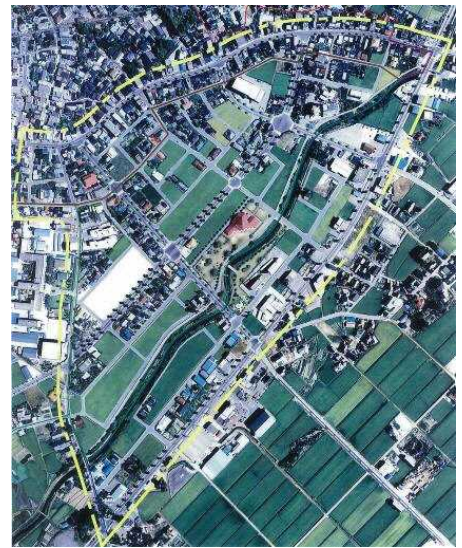


地区の現況と課題

本地区は、本市の中心市街地である三日市とともにこれと連続する海沿いの既成市街地である石田や生地等を含む約 1,600ha の地区である。

本地区では、これまで黒部西部都市再生整備計画（H22～H27）に基づき道路整備、地域防災施設整備、地域交流施設整備などを推進し、良好な居住環境、安全・快適な交通環境等の形成を進めてきたが、地区の諸課題として①密集市街地における防災性、②賑わいと交流のある中心部のまちづくり、③利便性の高い道路交通網の整備、④地域資源を活かした市街地の整備、⑤安全性を高める生活道路の改善等の課題が引き続き残っているのが実状である。

本地区内では、NPO法人黒部まちづくり協議会が三日市に拠点を置き、賑わいづくりに向けたワークショップやイベント等の開催を実施するほか、黒部観光ガイドが生地を中心にまち歩き観光案内等の活動を実施している。



▲ 三日市保育所周辺土地区画整理事業

提案事業の特徴

背戸川環境整備事業

身近な生活空間における良好な河川環境として、水と親しむ水辺整備を行った。

消火栓設置事業

防火・防災に強いまちづくりのため、消火栓を設置した。

計画策定プロセス

NPO法人黒部まちづくり協議会（三日市ワークショップ）

NPO法人黒部まちづくり協議会が7つのワークショップを構成し、市民一人ひとりから始めるまちづくり活動を展開している。中でも、地区内を活動の基盤とする「三日市ワークショップ」では、イベントの定期的開催（やってみっか市）や、地域の活性化を見据えた都市整備のあり方や活用方策の検討等を実施している。

黒部観光ガイド（旧黒部観光ボランティアの会）

黒部観光ガイドでは、生地まち歩き事業を主体に、生地の歴史や文化の研究、地元食材の普及等にも取り組んでいる。



▲ NPO法人黒部まちづくり協議会
「やってみっか市」の様子



▲ 黒部観光ガイド
「生地まち歩き」の様子